

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童支援事業所 ガラパゴス		
○保護者評価実施期間	8年 2月 16日		～ 8年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	8年 2月 16日		～ 8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 4月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の質	利用者一人ひとりにその期間だったり、その日、その時で必要な支援を意識して毎日、利用日の午前中に活動を組んでいること。	スタッフがより専門的な技術や知識を持ち得るように研修をしたり、その場面で発揮できるようなコミュニケーションを大切にできるような社内の雰囲気づくりをおこなう。
2	他にはない専門的な支援	利用者のそれぞれのステージで見える精神疾患、利用者を取り巻く兄弟支援、親の貧困や精神疾患・障害を前提にした支援、不登校支援、母子分離支援、他施設・機関から断られた利用者の受け入れなど、学位や資格を踏まえ、専門的知識や技術をもとに総括的に支援していること。	今後も必要な方にはこのような取り組みもできるという認知を広めたり、困っている行政の相談に乗ったりしていきたい。
3	今必要なことを今おこなうフットワークの軽さ	今必要だと思ったことは、その利用者に関係する機関にアポイントを取って積極的に意見を交換したり対応策を考えている。また連れていきたいイベント事も、行った先でパニックを起こすことを不安がられている保護者のためにも専門スタッフが積極的に連れて行くことで外部の刺激を与え、脳の成長を期待して支援をおこなっている。	安全に遠距離の活動ができるように、スタッフの休暇の取り方や、行事ごとの計画の立て方は重点的におこない、体調がすぐれないスタッフには適切な配慮を行う。関係機関からの顔色ばかりうかがっていると、利用者に適したタイミングからそれてしまうことも多々あるため、丁寧に理解をいただくサポートをしたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の和、グループを作っていないこと。	保護者会を開く。	日程や内容など、早め早めの計画をおこなう。何度も開催することで認知していただく工夫が必要だが時間が取れないので、その部分も含めて長いスパンで考えたい。
2			
3			